

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 米本 清	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①東日本大震災・原発事故関連の研究</p> <p>私は本年度（2012 年度）から本学に採用されたが、採用以前には福島県内の教育・研究機関に勤務し、科研費補助金を得て福島県・茨城県周辺の地域経済・人口に関わる研究を行っていた。特に震災後は、震災による被害や復興の動向を考慮して研究を進めてきた。</p> <p>この科研費研究の最終年度ということもあり、本年度は、震災・原発事故にともなう同地域における経済環境・人口の変化に主眼をおいて研究を行い、これをまとめた。</p> <p>内容は、</p> <ul style="list-style-type: none">・ 59th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International（国際地域学会第 59 回北米大会、カナダ・オタワ市）2012 年 11 月・ 応用地域学会第 26 回大会（青森公立大学）2012 年 12 月 <p>などで発表したほか、以下に掲載された。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 米本清・菅野玲（2012）「福島県浜通り地方の産業連関・輸移出入構造と東日本大震災」『産業連関』第 20 巻第 3 号，pp.11-23. <p>②都市・地域経済学関連の研究</p> <p>専門分野である都市の成長・衰退に関わる研究を進めた。単一中心都市における人口減少に関わる研究については、2013 年度中にも論文としてまとめる予定である。</p> <p>さらに、意思決定論を応用した研究についても、一定の成果が得られたため、2013 年度中に発表を行う予定である。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>着任初年度であったため、本学の状況に合わせて各講義や日本語論文指導の授業方法を確立し、学生の置かれた環境を理解するよう努め、一年間、無事に専任教員としての教育活動を終えた。高校への出前授業、ラジオゼミナール等の業務も行った。</p>	